

問1

講義内で制作したグラフのうち、矩形で制作したのはどのグラフか。

正解

レーダーチャート

円グラフ

線グラフ

棒グラフ

解説

矩形で制作したのは棒グラフです。

【復習箇所】 11回1章

問2

canvasの原点(0,0)はどこか。

正解

左上

右上

中央

右下

解説

canvasの原点は左上になります。

【復習箇所】 11回1章

問3

棒グラフの制作の際、グラフをリアルタイムで変化させるための値の入力はどうに行ったか。

正解

音声認識を使用した

カラーピッカを使用した

カレンダーを使用した

スライダを使用した

解説

演習ではinput要素のtype属性をrangeにすることで「スライダ」を使用しました。

【復習箇所】 11回2章

問4

棒グラフの制作の際、ボタンを押すと起動する関数「btn1()」内での処理の順番として、本講義で解説したのはどれか。

正解

- ①描画の消去→②矩形の描画→③値の取得
- ①矩形の描画→②値の取得→③描画の消去
- ①値の取得→②描画の消去→③矩形の描画
- ①値の取得→②矩形の描画→③描画の消去

解説

本講義では、

- ①値の取得
- ②描画の消去
- ③矩形の描画

の順で解説しました。

①と②は前後が入れ替わってもいいのですが、③の描画は最後でないと正しく機能しません。

【復習箇所】 11回2章

問5

折れ線グラフを制作する際、yの値の補正について説明した次の文の(A)に入るものはどれか。

「y軸方向の値の補正は、(A)からデータの値を引く」

正解

- canvas要素の横幅
- canvas要素の原点
- canvas要素の高さ
- canvas要素の円の半径

解説

y軸方向の値は、canvas要素の高さからデータの値を引きます。

【復習箇所】 11回3章

問6

折れ線グラフ制作の際、「ctx1.closePath()」を使用していないが、その理由はどれか。もっとも適切なものを選び。

不正解

- 終了点から開始点に戻る必要がないため
- そもそも「パス」を使用していないため
- データが増えても対応できるようにするため
- この場合記述しても変化はないので省略した

解説

多角形ならば開始点に戻るため「ctx1.closePath」は必要ですが、折れ線の場合は開始点に戻る必要がないので使用していません

【復習箇所】 11回3章

問7

円グラフを描く際の、次の円弧のコードの4つめの数字(0)は何の値か。

```
ctx1.arc(150, 150, 100, 0, Math.PI, false);
```

正解

y座標

開始の角度

x座標

終了の角度

解説

arc()の中は、

- 1.中心のx座標、
- 2.中心のy座標、
- 3.半径、
- 4.開始角度、
- 5.終了角度、
- 6.方向

ですから、4つめは開始角度になります。

【復習箇所】 11回4章

問8

円グラフを描く際の、角度の単位はどれか。

正解

ラジアン

mm

度

px

解説

円弧の角度は、ラジアンです。

【復習箇所】 11回4章

残り 01:00

設問数：8問

6.3 点

閉じる

問1	正解
問2	正解
問3	正解
問4	正解
問5	正解
問6	不正解
問7	正解
問8	正解